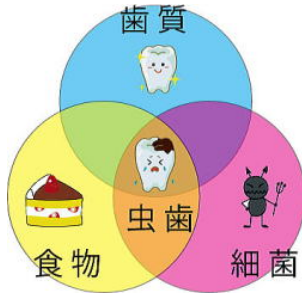


フッ素塗布について

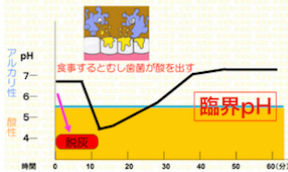
● どうして虫歯になるの？

むし歯は、いろいろな要因が複雑に絡み合って起きる病気です。むし歯に関しては、カイスという研究者がむし歯にかかる因子を3つ（①歯の強さ、②糖分の量、③ムシバ菌の量）挙げ、この3つの要因に④時間という概念をくっつけて、全て重なり合なりあったときに起こることを提唱しました。



つまりむし歯は、①歯が弱く、②甘いものをよく食べ、③お口の中のむし歯菌の量が多いとき、脱灰という作用が起り、歯が溶け出すことにより起こります。ですから、この3要素をフッ素などでコントロールすることが、非常に重要なのです。

① 食事をすると口の中は酸性になります



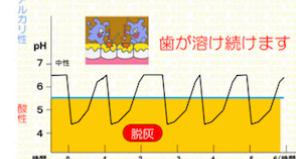
④ 溶けた歯の表面がもとにもどります (再石灰化)



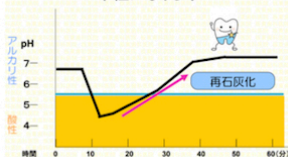
② 歯の表面がとけます (脱灰)



⑤ 食事回数が多かったり、時間が長いと酸性の時間が長くなってしまいます



③ 食事の後、だ液の作用で中性になります



⑥ 食事に合わせて、キシリトールをうまく利用しましょう



● フッ素ってなに？

フッ素には以下のような効果があります。

- ① 歯質を強化し、虫歯になりにくくする。
- ② 虫歯になりかけた部分の自然修復（再石灰化）を促進する。
- ③ 抗菌作用、抗酵素作用により虫歯菌の活動を抑制する。



● フッ素はどのくらい必要なの？

理想的には、歯が生え始めた時から永久歯が生えそろう頃まで、毎日行うのが良いと思います。ただ毎日歯科医院に通うことは不可能ですから、毎日の歯みがきは市販のフッ素入りのハミガキ剤でしっかりみがき、定期的にメインテナンスしていくことが重要です。

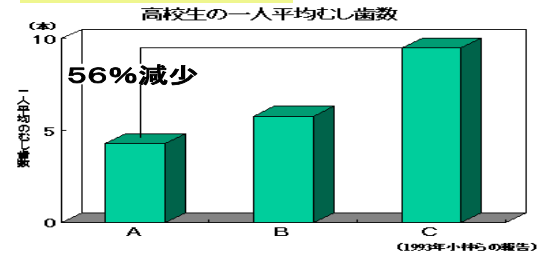
● どのくらいの割合で通えばいいの？

当院では、お子様の虫歯リスクの検査を行ったあと、お子様に応じた方法、回数でフッ素塗布を行っています。基本的には、最低でも**1年に4回、つまり3ヶ月ごと**のフッ素塗布が必要です。大事なことはせっかくの予防処置ですから、虫歯になる前に適切な処置を行うことです。健康なお口の状態を維持していくには、定期的なメンテナンスが必要不可欠です。

● 自宅でハミガキするだけではダメなの？

きちんとハミガキしているのに、虫歯になったことはないですか？実はハミガキは意外と難しいものです。そのため、きちんとハミガキしているつもりでも、みがき残しができてしまうようです。そういったところは、残念ながら虫歯になりやすくなります。私たちは**お子様のお口の健康を維持することを第一目標**としています。

● フッ素の予防効果は？



- A群：保育園、幼稚園から中学校まで11年間フッ素塗布を続けている。
- B群：小学校から6～9年間、フッ素塗布を続けている。
- C群：フッ素塗布をしたことがない。

● 費用について

フッ素塗布は、保険外診療となります。（2回目以降は、割引チケットをお渡ししていますので、忘れずにお持ち下さいね。）

5歳以下（乳歯列期）のお子様	500円
6歳以上（混合歯列期）のお子様	1000円

（保険適用の管理料など除く）

● フッ素の塗りすぎに注意！！

虫歯の予防に非常に効果的なフッ素。ホームケアとして、フッ素入りのハミガキ剤や洗口剤をお使いになることも効果的ですが、塗りすぎは禁物です。フッ素の塗りすぎは、「**歯牙フッ素症**」を引き起こすといわれているのです。

「歯牙フッ素症」とは、歯が白っぽく濁って見える病気です。もし、お子様の歯が白く濁って見えるようなら、ご家庭でのフッ素の使用は控え、すぐにご相談下さい。

お大事になさってください。